



# かるがも便り

80号

1月・4月・7月・10月の年4回発行

石神井まちづくりの会 代表兼編集者：下河秀行

デザイン・構成：西森由紀子

## 今号の 記事内容

- 1面：都立石神井公園サービスセンター新任センター長 永光智之氏にインタビュー。
- 2面：知られざる練馬の歴史シリーズ⑩ 関・富士見池の名の由来と謎の3城址。
- 3面：ふるさと文化館 企画展「石神井公園～池のほとりに育まれた自然と歴史～」
- 4面：石神井のまち歩き「歴史と文化を訪ねる」、【ジャズを楽しく歌う会】参加者募集、編集後記

## 都立石神井公園サービスセンター長 永光智之氏にインタビュー

石神井まちづくりの会は、「住みよいまちづくり」を目指して地域の様々な課題について、行政ほかへ要望したり、提案したりして、課題の解決に向けて働きかけています。ここでは、わが【都立石神井公園の現状と課題】について、石神井公園サービスセンター 新任センター長 永光智之氏にインタビューしました。

### Q1. 自然豊かな都立公園ですが、その特徴は

三宝寺池、石神井池の二つの池を中心とした公園で、武蔵野の自然がよく残されています。木々に囲まれ静かな趣の三宝寺池と、ボートで賑わう石神井池のほかに、石神井城跡などの遺跡があります。また、公園を含む周辺の区域は、環境や景観を保持するため、風致地区に指定されています。



地震発生時の防災機能を発揮するために、練馬区や石神井警察署、石神井消防署などと連携し、防災訓練の実施などによる防災対策の強化にも努めています。

### Q2. 園内のサクラ並木が老朽化していますが

サクラを含めた樹木については、サービスセンター職員による樹木点検のほか、(公財)東京都公園協会の樹木医による診断を実施し、安全確保を図っています。また後継樹の苗木育成を段階的に行ってまいります。

### Q3. 「野外ステージ」の有効活用について

野外ステージとその周辺については、多くの人が集まる場所であることをふまえ、安全で快適な利用に対応していきます。公園周辺の環境に適し

た野外ステージとなるように、感染症対策等を含め申込団体と丁寧な調整を行っています。

### Q4. スポーツ運動公園として、その役割は

東京2020大会の開催を契機として高まったスポーツ活動の機運を継続し、運動施設の利用推進を通じた都民の健康づくりを進めていきます。なお、石神井池地区野球場は、東京都地域防災計画で災害時臨時離着陸場候補地に指定されていることから、公園利用者への周知を図るとともに、災害時使用に支障がでないよう、防災訓練等を通じて現状を把握し、機能確保を図って参ります。

### Q5. 三宝寺池の木道が相当痛んでいますが、その対応は

毎日の巡回点検を励行し、来園者の安心・安全や環境配慮等の観点から補修に努めて参ります。

### Q6. 三宝寺池沼沢植物群落は、1935年に国の天然記念物として指定されていますが、その保存は大変では

現在、三宝寺池は練馬区有地(旧国有地)であり、沼沢植物群落は区有地内になりますが、天然記念物の管理は東京都が担当しているため、サービスセンターは都やボランティア団体などと連携して保全・継承に対応しています。

本日のインタビュー有難うございました(下河秀行)

- セール期間：7月1日(金)～7月12日(火)の12日間
- 抽選日：7月10日(日)、11日(月)、12日(火)の3日間
- 抽選場所：銀座通り ふれあい広場 12時～18時
- セール内容：お買い上げ300円毎に補助券1枚進呈 10枚で1回抽選  
お買い上げ3,000円毎に本券1枚進呈 1枚で1回抽選
- ◆特賞 2万円分の練馬区内共通商品券 …………… 8本
- ◆1等 小林幸子コンサートペア券 …………… 40本
- ◆2等 TJOY SEIBU 大泉 ペア券 …………… 40本
- ◆3等 500円分の練馬区内商品券 …………… 600本
- ◆4等 雑貨、ティッシュ、トイレトペーパー、飲料など …… 1,512本

中元  
大売出し  
抽選会

石神井公園  
商店街  
振興組合

## 【知られざる練馬の歴史シリーズ⑩】 関・富士見池の名の由来と謎の3城址

区内関町北にある武蔵関公園は、富士見池（ポート池）を中心とする区立公園である。付近は、元々湧水の豊富な地で、江戸期にはそれを灌漑用として溜池にしていたため、「関の溜井」の名で呼ばれていた。

大正時代になると、この池は護岸がコンクリートで固められてポート池となり、私設公園「若宮遊園」の中心施設となった。その後、1938(昭和13)年には、西武鉄道株式会社と武蔵関公園建設協賛会が約1万4千坪を公園地として東京市に寄付し、以降は「東京市立武蔵関公園」、さらに1975(昭和50)年になると都から練馬区に移管されて「練馬区立武蔵関公園」となっている。

なお、池には「富士見」の名がつけられているが、一帯は低地であり、富士を望むことはできない。



▲ 武蔵関公園・富士見池

実は、当初この池は東伏見にあることから「伏見ヶ池」「伏見池」と呼ばれており、それが昭和中期頃から表記が変化して「富士見池」に変わっていったのである。

この池を含む地域は、江戸期にはすでに「関村」と呼ばれていたが、同地名の由来については『新編武蔵風土記稿』に、「豊島氏石神井ニ在城セシ頃関ヲ構ヘシ所ナリ今モ大関小関ノ小名アルハ其遺跡ナリ」とあり、近くに建つ天祖若宮八幡宮には、付近に関が設けられていた時期に「武蔵関塞守護神」として奉られた、との社伝も残されている。しかし、1784(天明4)年『関村絵図』(井口照子氏所蔵)では溜井の東側に「大堰」が確認されることから、実際にはこれに由来するものとの説

が有力となっている。ちなみに、地名が「大関・小関」に分かれたのも江戸期のことで、「大関」は「小関」に対する「親村」の意味からの命名だったようである。

池の周囲には、天祖神社東遺跡・溜溜遺跡・武蔵関遺跡・下柳沢遺跡(西東京市)・下野谷遺跡(国指定史跡:西東京市)など古代遺跡も多い



▲ 天祖若宮八幡宮

が、このうちの溜溜遺跡からは城郭遺構(障子堀)が見つかっているほか、下柳沢遺跡からは呪の八幡座や陶磁器が出土し、ともに時期等は不明ながら城址の可能性が高いとみられている。また、発掘による実証は得られていないものの、同じく東伏見稲荷神社が建つ地も城址との伝承が残されている。石神井川沿いに位置していることから考えれば、豊島氏との関連も考えられるが、残念ながらそれを示す資料などは現在まで発見されていない(「障子堀」はそれより若干時代が下る遺構と考えられる)。

なお「石神井川」は元来、三宝寺池以東(=三宝寺川)の流れに対する呼称で、小平方面からの流れおよび富士見池との合流部から三宝寺川との合流地点までは、以前長く「関川」「大川」と呼ばれていた。しかし、1957(昭和32)年には田無町より下流、1965(昭和40)年には小平市源流部からの流れすべてが「石神井川」となった。

川は上流部で「枯れ川」となっている時期も多いが、富士見池脇では通年で清らかな流れがみられ、園内は憩いの場として今も多くの人々に親しまれている。

文:郷土史家・葛城明彦

安心・安全をサービスにおもてなし

石神井公園

また行ってみたい商店街へ

西友通り商店会

お買い物は防犯カメラが設置された安全な加盟店36店舗で



練馬区立石神井公園ふるさと文化館

企画展 「石神井公園－池のほとりに育まれた自然と歴史－」

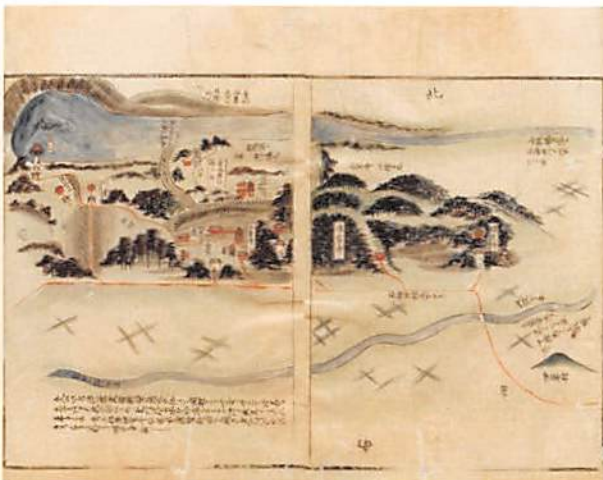
◆ 会 期：6月18日(土)～8月14日(日)  
午前9時～午後6時

月曜日休館。  
月曜が祝日の場合は翌平日休館。

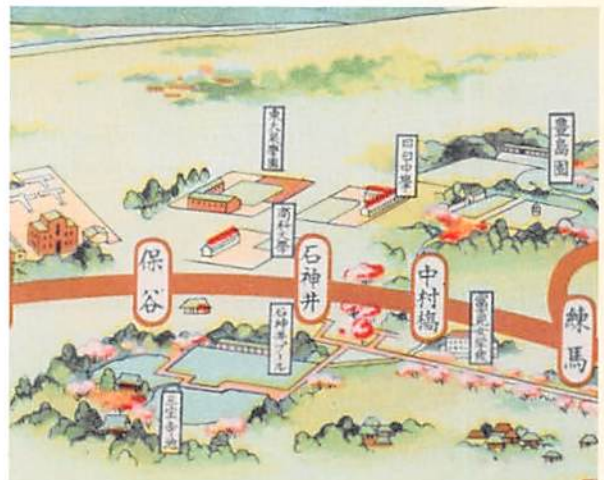
◆ 会 場：石神井公園ふるさと文化館 2階企画展示室 練馬区石神井町5-12-16

◆ 観覧料：無料

石神井公園周辺は、現在でも区内有数の豊かな自然環境が維持されています。武蔵野三大湧水の一つである「三宝寺池」は、江戸時代には、豊かな水源地として水に関する信仰の地となるとともに、風光明媚な場所であることから江戸の文人にも知られる名所となりました。大正4(1915)年に武蔵野鉄道が開通して以後は、地元の人々は、周辺の観光地化に努めていくようになりました。本展では、収蔵資料を中心として、石神井公園のあゆみを紹介します。



▲ 嘉陵紀行 文化～天保年間  
国立公文書館蔵



▲ 武蔵野鉄道沿線案内(部分)  
昭和4(1929)年～昭和8(1933)年

分室常設展示 「作家の手紙の魅力」

◆ 会 期：開催中～10月2日(日) 午前9時～午後6時

月曜日休室。  
月曜が祝日の場合は翌平日休室。

◆ 会 場：石神井公園ふるさと文化館分室 1階展示室  
練馬区石神井台1-33-44 石神井松の風文化公園管理棟内

◆ 観覧料：無料

▼ 会場風景

文化館の収蔵資料には、練馬区ゆかりの作家に関連した、さまざまな手紙があります。そうした手紙から「愛の手紙」「いただきものの御礼」「母から子へ」「病床への励まし」など、テーマでまとめて紹介する展示を行っています。小林秀雄、志賀直哉、五味康祐、檀一雄、佐藤春夫、草野心平などが織りなす、心の交流がしのべられます。ぜひご覧ください。



ご葬儀に関する事なら何でもご相談ください

24時間  
安心ダイヤル

フリーダイヤル



ヨイ セレモニー

0120-41-7062

■ 本 社：練馬区上石神井4-9-24 TEL:03-3929-1040 ■ 営業所：東大泉

■ サロン：大泉学園町店・大泉学園駅前店

マキノ祭典

検索

感謝のセレモニー マキノ祭典

## 石神井まちづくりの会主催：石神井のまち歩き「歴史と文化を訪ねる」が実施された

石神井まちづくりの会は、武蔵野の面影を残す都立石神井公園を「石神井再発見ウォーク」として、過去何回も企画主催している。石神井公園地域の歴史と文化を訪ねる第五回【石神井まち歩き】は、6月26日（日）午後1時～3時、多くの会員が参加して行われた。ガイド役は、郷土史家の葛城明彦氏にお願いして、石神井公園駅中央改札口前を午後1時出発し～アニメサインボード～石神井火車站之碑～檀一雄邸跡～豊清館跡～記念庭園（第二豊田園跡）

～都立野球場 B（旧三宝寺跡・日本サッカー発祥の地）～野外ステージ（空襲爆撃跡）～中の島～太宰治・檀一雄記念撮影の地～西側ボート乗り場跡～つげの木稲荷跡～石神井プール跡～石神井城址～石神井ホテル跡～物見櫓跡～外堀跡・外城跡～姫塚・殿塚～アメダス～石神井公園ふるさと文化館分室で一旦解散し、希望者のみ石神井公園ふるさと文化館まで歩いた。参加者は、石神井の「歴史と文学」に感心を寄せていた。

## 男女共同参画センターえ〜と、生涯学習センターで ジャズを一緒に楽しく唄いませんか？

## ～【楽しいジャズを歌う会】参加者を募集しています～

ジャズ歌手&ピアニストの講師による「ジャズヴォーカルを楽しく歌う会」のご案内。発声、発音、音楽の基礎からジャズらしい音やリズムの使い方までグループレッスンですが、1人ずつもご指導。シニアやお勤めの方、学生さんにも、いらっしやっただけのように「楽しくジャズを歌う会」です。

◎日 時：7月4日(月曜日) 午前11時30分～12時45分 (会費1,200円)

◎場 所：男女共同参画センター え〜る 2階 視聴覚室 (先着5名)

◎日 時：7月9日(土曜日) 午前11時30分～12時45分 (会費1,200円)

◎場 所：練馬区立生涯学習センター 2階 第3教室 (先着5名)

◎講 師：矢作木の実 先生 (ジャズピアニスト&ヴォーカリスト)

◆申込先：☎080-6607-4321 e-mail [h.shimogawa@kind.ocn.ne.jp](mailto:h.shimogawa@kind.ocn.ne.jp)

◆ホームページ：<https://s48921h.wixsite.com/voice>



## 編 集 後 記

練馬区立美術館は、昭和60年（1985年）10月に開館、令和4年（2022年）に37周年を迎えた。

美術に関する区民の知識及び教養の向上を図り、もって区民文化の発展に寄与することを目的としている。これまで日本の近・現代美術を中心に企画展を開催。多様な美術作品を紹介するとともに、練馬にゆかりのある作家の作品をはじめとした作品収集や調査研究を行って好評を得ている。また鑑賞するだけでなく、

美術講座やワークショップの開催、展示室や創作室の貸出しなどを通じて多くの方に参加していただける開かれた美術館を目指している。この美術館に現在練馬区で約70億円もの予算をかけて全面改築の計画が進められている。どのような計画になるのか、区民の血税が無駄にならないように見つめていくと共に、このまち一帯が美術の街として発展するように興味深く見つめて行きたい。（H・S）



～地域文化の交流点～  
観蔵院曼荼羅美術館

開館時間/土・日曜日 10:00～16:00

東京都練馬区南田中4-15-24

TEL3996-6858 FAX3996-6878

<https://kanzouin.wixsite.com/mandala>



石 神 井  
まちづくりの会

ご意見等は、☎&FAX、又は左下のe-mailへ送信してください。

TEL & FAX 03-5393-7381 携帯 080-6607-4321

【かるがも便り】は、区民交流センター・石神井庁舎・え〜と・練馬区内12の図書館・ふるさと文化館・勤福会館等にありませ